

岩田 拓（副院長兼病棟診療部長）

<講演>

- 岩田拓. 認知症を知り、備える. 春日井市市民講座; 2010.

粉川 進（副院長兼社会復帰部長）

<講演>

- 粉川進. 精神障害を理解する. 名古屋市名東区障害者自立支援協議会; 2007.
- 粉川進. 精神障害の治療ーリハビリーとコメディカルの役割ー. 熊野 SDA 研究会; 2007.
- 粉川進. 誰でもわかる精神科薬物療法. 愛知 SST 経験交流会; 2007.
- 粉川進. 精神保健法と医療観察法. 名古屋市精神保健センター講演; 2009.
- 粉川進. うつ病を理解する. 名古屋市東区医師会講演; 2009.
- 粉川進. 統合失調症と認知. 第六回北勢精神疾患治療研究会; 2009.
- 粉川進. 睡眠とその障害. 名古屋市千種区医師会; 2010.
- 粉川進. リハビリーを目指す精神科リハビリテーション. 第26回秋田こころの臨床研究会夏季セミナー; 2010.

大村 豊（総合医療部長）

<学術論文 国内誌>

- 大村豊 選択緘黙 ―成人期への影響―. 精神科治療学 2006.
- 大村豊 成人の発達障害とデイケア. そだちの科学（日本評論社） 2009.

<学会シンポジウム>

- 大村豊 成人期に診断を受けた発達障害者のグループワークから見えてきたもの. 第102回日本小児精神神経学会シンポジウム『成人期の課題から早期支援を考える』;2009.

<学会発表>

- 大村豊、他 広汎性発達障害および注意欠陥／多動性障害（不注意優勢型）の成人に対するグループワーク ソーシャルネットワーキングサービスを併用する試み. 第49回日本児童青年精神医学会総会;2008

<共同執筆>

- 大村豊. 成人の高機能広汎性発達障害の診断と支援. 『子どもの発達と情緒の障害』 岩崎学術出版社;2009.
- 大村豊. 発達段階から見た生活上の問題行動とそのケア. 『自閉症スペクトラムの医療・療育・教育』 金芳堂;2005.
- 大村豊. 「遺ふん症」「かん黙症」「チック」「トゥーレット症候群」. 特別支援教育大事典: 旬報社;2010.

<研修会講師>

- 大村豊. 青年期・成人期の発達障害者の治療と支援. 一般精神科診療における発達障害; 明治安田こころの健康財団;2009.

高木 宏（外来診療部長）

<学会発表>

- 高木宏. 統合失調症と双極性障害の関係に関する精神病理的考察—ダマシオの「情動」、「クオリア」に着目して. 第 32 回日本精神病理・精神療法学会; 2009.
- 高木宏. 非定型抗精神病薬持効性注射薬の使用経験. 第 168 回東海精神神経学会; 三重県津市. 2010.

<講演>

- 高木宏. 『うつ』の広がりと今日的課題. 城山病院公開講座; 2009.
- 高木宏. リスパダールコンスタによる統合失調症治療—使用経験と今後の期待. 愛知県精神科医会学術講演会 2010.

<資格など>

日本精神神経科学会 専門医

羽瀨 知可子（外来診療科医長）

<学術論文・国際誌>

- Habuchi C, Iritani S, Sekiguchi H, Torii Y, Ishihara R, Arai T, et al. Clinicopathological study of diffuse neurofibrillary tangles with calcification With special reference to TDP-43 proteinopathy and alpha-synucleinopathy. J Neurol Sci. 2011 Feb 15;301(1-2):77-85. Epub 2010 Nov 24

<学術論文・国内誌>

- 羽瀧知可子, 木村宏之, 尾崎紀夫. 透析室における精神症状と行動異常「食事をとろうとしない」. 臨床透析 2007.
- 羽瀧知可子, 田中聡, 尾崎紀夫. 精神療法を科学する. こころの臨床 a la carte 2007.
- 羽瀧知可子, 入谷修司, 尾崎紀夫. パーキンソン病の治療経過中に精神症状をきたした患者の治療に関する一考察. 分子精神医学 2008.
- 羽瀧知可子, 新井哲明, 入谷修司. 特集 脳老化の神経科学 「脳の老化の神経化学」. 分子精神医学 2010

<分担執筆>

- 羽瀧知可子, 吉田契造, 尾崎紀夫. 「CATIE STUDY」. KEYWORD 精神第4版 先端医学社; 2007.

<分担翻訳>

- 羽瀧知可子, 他訳, Peebles MJ.著 「初回面接—出会いの見立てと組み立て方」 第14章『同盟を形成する力を引き出す』 / 第15章『現実検討と思考活動』. 神谷栄治 (監訳), editor.: 金剛出版; 2010

<学会発表>

- Habuchi C, Iritani S, Sekiguchi H, Ishihara R, Arai T, Hasegawa M, et al. Clinicopathological study of Diffuse neurofibrillary tangles with calcification —With special reference to TDP-43 proteinopathy and alpha-synucleinopathy— (poster presentation). The 9th International Conference AD/PD ; Prague, Czech. 2009.
- 羽瀧知可子, 関口裕孝, 入谷修司, 石原良子, 新井哲明, 土谷邦秋, et al. Diffuse neurofibrillary tangles with calcification(DNTC)患者脳の蓄積異常タンパクの組織学的検討、および臨床症状との関連について (poster presentation). 第27回 日本認知症学会学術集会; 群馬県前橋市. 2008.

- 羽瀧知可子, 関口裕孝, 入谷修司, 新井哲明, 石原良子, 秋山治彦, et al. 石灰沈着を伴うびまん性神経原線維変化病 Diffuse Neurofibrillary tangles with calcification (DNTC) における言語症状の臨床的特徴 —特に言語障害および前頭葉症状について. 第 24 回日本老年精神医学会; 横浜. 2009.
- 羽瀧知可子, 入谷修司, 粉川進, 後藤陽夫. 愛知県における行政的非自発入院の特徴と問題点. 第 17 回精神科救急学会; 山形. 2009.
- 羽瀧知可子, 関口裕孝, 瀧野真広, 高木宏, 粉川進, 後藤陽夫. 公立単科精神科病院における修正型電気痙攣療法 (mECT) の運用. 第 168 回東海精神神経学会; 三重県津市. 2010.
- 羽瀧知可子, 関口裕孝, 鳥居洋太, 入谷修司. 経過中に転移性脳腫瘍が併発したアルツハイマー病の症例. 第 47 回名古屋臨床神経病理アカデミー; 名古屋. 2010.

<講演>

- 羽瀧知可子. 精神疾患の臨床～不安障害・発達障害・人格障害. 神戸薬科大学生涯教育講演; 名古屋. 2010.
- 羽瀧知可子. 意外と身近な精神科救急～公立精神科病院の現場から～. 神戸薬科大学生涯教育講演; 名古屋. 2010.

瀧野 真広 (病棟診療部第四診療科専門員)

<学会発表>

- 瀧野真広, 大村豊], 大橋玲奈, 山田勝, 児嶋しほり. 思春期青年期治療ユニットの実践. 第 167 回東海精神神経学会; 愛知. 2009.

<講義>

- 瀧野真広. 精神科：代表的な精神疾患について. 診療情報管理士通信教育スクーリング; 名古屋. 2010.

山田 勝（総合医療部専門員（臨床心理））

<学術論文 国内誌>

- 山田勝. 病いや心理的問題によって苦しむ体験の意味について. 心理臨床学研究 2005;23:401-11.
- 山田勝. 心理療法における「つながり」と他者とは異なった自己の生成について. 心理臨床学研究 2010;28:74-85.

<分担執筆>

- 山田勝. 精神医療とそのスタッフから学ぶべき課題—単科精神科病院の職場から—. 渡辺雄三、総田純次, editor.: 人文書院; 2007

<学会発表>

- 山田勝. 心理療法関係の中で生じる自己の生成について—シゾイドの青年との9年間の心理療法を通して—. 第26回日本心理臨床学会 2007.

<講演>

- 山田勝. 「青年心理」. In: 愛知県がんセンター看護部, editor. 臨地実習指導者研修; 2005.
- 山田勝. 心理臨床ワークショップ「医療領域における他職種との協働」. 日本心理臨床学会第24回; 2005.
- 山田勝, 小森康永. 豊田市精神保健福祉関係職員研修会及びヘルパーフォローアップ研修会. In: 豊田市福祉保健部障害福

社課, editor.; 愛知県豊田市. 2005.

- 山田勝. 「青年心理」. In: 愛知県がんセンター看護部, editor. 臨地実習指導者研修; 2006
- 山田勝. 臨床心理士は精神科臨床から何を学ぶべきか—大学院での臨床心理実習を視野に入れながら—単科精神病院の心理臨床家の立場から. 第25回日本心理臨床学会; 2006.
- 山田勝. 対話と心の癒し—なぜ人は話を聴いてほしいのか—. In: 愛知県立城山病院, editor. 城山病院公開講座; 2006
- 山田勝, 小森康永. ミスター・スキゾ完全独占インタビュー.; 楠第一病院. 2007
- 山田勝, 小森康永. もしも『うつ病』が話したら… . In: 名古屋男女平等参画推進センター, editor.; 2008.
- 山田勝, 米倉五郎, 杉野健二. 心理臨床ワークショップ「病院心理臨床における集団心理療法を学ぶ」. 日本心理臨床学会第27回大会. ; 2008
- 山田勝. 医療における他職種との協働と臨床心理士の専門性. In: 愛知県臨床心理士会医療心理臨床ワーキンググループ, editor. 第16回医療心理臨床研修会; 愛知. 2009.
- 山田勝, editor. 基調講演「日本臨床心理士会倫理綱領を読む」. 愛知県臨床心理士会平成21年度総会; 2009; 愛知.

<分担翻訳>

- 山田勝、他訳 WM. Narratives Practice and Exotic Lives : Resurrecting Diversity in Everyday Life ; ナラティヴ・プラクティスとエキゾチックな人生—日常生活における多様性の掘り起こし—. 小森康永監訳, editor.: 金剛出版; 2007.

<書評>

- 山田勝. 書評 ; D・エプストン著/小森康永監訳『ナラティヴ・セラピーの冒険』. 家族療法研究 2005;22:2

<役員など>

- 2003.4~2006.3 愛知県臨床心理士会 理事 職能部会
- 2006.4~2009.3 愛知県臨床心理士会 常任理事 職能部会長
- 2009.4~現在 愛知県臨床心理士会 倫理委員会委員長

小野 真樹（レジデント）

<学術論文 国内誌>

- 小野真樹, 杉山登志郎. 「難しい親」との付き合い方ー臨床の現場から 背景に親の虐待行為がある場合. 児童心理 2009;906:7.

<分担執筆>

- 小野真樹. 親支援に向けたあいち小児保健医療総合センターにおける取り組み. 子ども虐待の予防とケアのすべて（加除式書籍）. 子ども虐待の予防とケア研究会（才村純、磯谷文明、徳永雅子、西澤哲、宮本信也）, editor.: 第一法規; 2003（追録13号 2010）
- 小野真樹. 認知的個性 違いが生きる学びと支援; 注意欠陥／多動性障害（ADHD）気まぐれな才能を活かすために. 松村暢隆、石川裕之、佐野亮子、小倉正義, editor.: 新曜社; 2010.

<学会発表>

- 小野真樹, 江川純, 森本武志, 川村昌代, 浦野葉子, 栗山貴久子, et al. 発達障害同胞併発例の検討. 第101回小児精神神経医学会; 東京. 2009.

- 小野真樹, 江川純, 森本武志, 川村昌代, 浦野葉子, 栗山貴久子, et al. 発達障害同胞併発例の検討. 第6会小児心身医学会北海道地方会; 札幌. 2009.
- 小野真樹, 杉山登志郎, 東誠, 栗山貴久子, 浦野葉子. 高機能広汎性発達障害の同胞併発例の検討. 愛知児童青年精神医学会 第1回学術総会; 名古屋. 2010.

<講演>

- 小野真樹, 佐藤弘道. トークセッション「みんなで考えよう!子どもの成長」:「発達障がいの子どもたちへの支援を地域でどのように行うか」. NHKハートフォーラム「発達障がいーみんなで考えよう!子どもの成長」; 愛知県常滑市. 2009.
- 小野真樹. 子ども虐待と地域システムについて. 第23回発達診断セミナー; 滋賀県大津市. 2009.
- 小野真樹. こどもの心の問題と発達への影響. 和歌山県市町村保健師研修会; 和歌山. 2010.